

## 分子研研究会のオンライン開催

2020年7月10日に、立命館大学の越山友美先生のもと、分子研研究会「錯体化学に基づく分子の構造変換設計と機能制御」がオンラインで開催されました。私は所内対応者としてこの研究会をサポートさせて頂きました。様々な討論会や研究会がオンラインで開催されるようになって久しいですが、当時はそのような事例は少なく、また分子研研究会としては初のオンライン開催だったということもあり、手探りながらも慎重に準備を進めました。本研究会ではZoomを用いて口頭発表を行ったのですが、例えば、講演者の皆様には事前接続チェックをして頂き、万が一通信が途切れてしまった場合に備え予備のPCあるいは通信環境が準備できるか、を確認するなど、問題が起

こった際に早急に復旧できるよう準備を整えました。研究会本番では一度だけ通信が途切れるハプニングがありましたが、講演者の先生が迅速に対応してくださったおかげで、数分後には復旧して発表を続けて頂くことができました。

本研究会ではRemoを用いたポスター発表も行われました。Remoでは講演者を含めた最大6人が一つのポスターテーブルに集まり、カメラとマイクを用いてリアルタイムでの発表/聴講が可能です。RemoではZoomよりも高いPC・通信環境が要求されるようで、ポスターテーブルのうちいくつかでは、ポスターは見えるものの講演者のカメラ映像と声が途切れ途切れで聞き取れない……ということがありまし

た。一方で、聴講者は自由にポスターを拡大/縮小してみる事ができる(データの細部まで確認できる)、落ち着いた環境でポスター発表に参加できる(暑く混雑したポスター会場で汗をかきながら発表/聴講する必要がない)、等、オンラインポスター発表会ならではのメリットと今後の大きな可能性を感じました。

今回の研究会では270名からの参加登録がありました。多数の方々に参加して頂け、後々のオンライン研究会・討論会の開催につながるよい手応えを感じました。

最後に、本研究会のオンラインでの開催をお認めくださった関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

(草本 哲郎 記)

## 訃報 木村 克美 名誉教授逝去

## 木村先生、岡崎、分子研 阿知波 洋次 (首都大学東京 名誉教授)

既に皆様ご存じのことと思われませんが、令和2年10月21日に木村克美先生がお亡くなりになりました。木村先生は現役を退かれた後、生まれ育った故郷でもある岡崎でお暮しでしたが、比較的最近、宇治市に転居され、その後もお元気で老後の生活をお過ごしのことと、聞いておりました。誠に残念です。この場をお借りして、心からご冥福をお祈りさせていただきます。筆者と木村先生との出会いは、一人の卒研生とその指導教官として、かれこれ半世紀前の札幌まで遡ることとなります。当時、木村先生は、北大附置研の一つであった応用電気研究所に若くして阪大より教授として着任し、マイクロ秒フラッシュ法による短寿命化学種の分子分光学的研究を進めていました。と同時に、当時世界的にも開発されて間もない真空紫外光を用いた光電子分光による分子の電子状態の研究も木村研究室の大きなテーマの一つでありました。北大時代の短寿命化学種と光電子分光という二つの研究キーワードは、その後、先生が開設間もない分子研に転任した後、新しい研究室の主要なテーマとして見事に融合し、レーザー多光子光電子分光法として開発、発展していくこととなります。その後の木村先生のご活躍は皆様ご存知の通りです。岡崎の地を語る時の先生の誇らしげな顔、テニスコート上の楽しげな姿、また、夜遅くまで灯る先生の居室。いずれも分子研における大変充実した先生の研究生活を物語るものであったと懐かしく思い出されます。これからは、どうぞ、ゆっくりお休みください。